

かまた礼二の議会だより

第9号



2012年 1月 1日発行

発行者

塩竈市議会議員 鎌田礼二

〒985-0077 塩竈市梅の宮 1-26

・TEL & FAX 022-365-9626

・mail kamata02@c-marinet.ne.jp



良い年でありますように

昨年は、どなたもが大変な思いをされた震災の年でありました。

2012年・辰年、新しい年を迎え、皆様が良い年でありますよう心よりお祈り致します。



昨年の選挙では、皆様のご支持をいただき2期目を当選することが出来ました。これはひとえに市民の皆様のお陰と感謝申し上げます。今後も初心を忘れることなく一生懸命頑張る所存でありますので宜しくお願い致します。

今後については、今回の大震災の復旧復興にあらゆる努力を尽くすことは勿論のこと次の様なことを活動して行きます。

◎今後も議会で機会あるごとに質問

2007年の当選以来、一般質問も15回目となりました。機会ある毎に一般質問を行い、今後も行政へ市民の意見を伝えて行きたいと思います。

◎『かまた礼二の議会だより』を継続発行

半年に1回の割で発行し、市内北部を中心に自ら一軒一軒歩き自分の手で配布します。今後も市民の皆様からいただいたご意見やご要望を一般質問として、または市当局へ要望していきます。

◎毎年、『かまた礼二の議会報告会』を開催

今後も継続し、一年間の活動と今後について支援者の方々にご報告し、また参加いただいた皆様からのご意見をお聞きする場に致します。

◎ホームページとブログを更新

少しでも多くの市民の皆さんから声を寄せていただくため、私の活動を理解していただくためにホームページとブログを開設しております。

- ・ホームページ『かまた礼二市議会議員』
- ・ブログ『鎌田礼二の議員日記』

いずれも「鎌田礼二」で検索いただければ直ぐにご覧いただけます。ご意見や提言、コメント等をお寄せ下さい。

平成23年9月議会での一般質問

東日本大震災の関係と台風15号関連を主体に行いました。要旨は以下の通りです。

①台風15号について

9月21日の台風15号で被害を受けました方々に心よりお見舞い申し上げます。

この台風での被害は、東日本大震災の津波被害を受けた地域と重なり、被災された方を思うと本当に気の毒でたまりません。この台風に塩竈市としてどう対応されたのかをお聞き致します。

今回の台風15号は震災の後で 正にこれから再起を図ろうというところへの来襲で、被災された方にとって精神的にも大変な状況であったと思います。何か国や県からの救援・救済は無いのか。例えば災害救助法の適用であるとか。また、塩竈市としても震災の時と同様な見舞金等も必要ではないかと質問をするつもりでございました。

質問の通告をしてから半月以上も経過しておりもう概案が出ており市の広報も臨時で出されるようですが、概要をお教え下さい。

②市長の公約について

市長は今回の選挙で国民健康保険の減額をすると言っておりましたが、どういった内容なのかをお教え下さい。



昨年11月の議会報告会



2011年 8月 三重県からのボランティア(少林寺拳法関係者)の人達と

まず国保税の減額については、本当に可能なのではないでしょうか。この震災で国保加入者の構成が変わっているのではないのでしょうか。したがって平成22年度までのようには行かず、むしろ悪化しているのではないかと思います。本当に減額が可能なのでしょうか。3年おきの見直しをかけておりますが、3年後に戻るようでは困ります。

また、減額すると言っても、どの位下げる予定でしょうか。年間の支払いで100円下げても、あるいは1,000円下げても減額ですが。

③市立病院について

先日開催の平成22年度決算特別委員会で、“今年3月に発生した東日本大震災の影響があった中で、232万円の現金利益を確保し、昨年度に引き続き、収支均衡を達成することが出来た。”と報告がありましたが、今期ももう半年が経過しておりますし、今期の経営見通しと今後の展開をお聞かせ下さい。

現在、高齢者を抱えている方々はかなり大変な思いをされているようです。特別養護老人ホームにも入れない。入院をすれば3ヶ月で退院を迫られ次の病院を探すといった大変な状況です。

塩竈市立病院は、現在療養病床が38床ですが、高齢化が今後も進むわけですから、全部療養型(161床)とし、新たに病院を建設してはいかがでしょうか。

新たな病院は、本塩釜駅付近に建設し、先進医療を行い、1階は駐車場として2階以上が病院で津波避難ビルとして建設してはと思いますが、市長の見解をお聞かせ下さい。

④教育について

東日本大震災での市内の被災状況については、既に報告を受けておりますが。その後の状況、特に学校関係については、気にかかるところです。被災状況と現在の状況をお教え下さい。

第二小学校の体育館などは壁の落下箇所をブルーシートで覆われてお

りますが、校内の行事や授業にかなりの影響があるのではと思います。塩竈の未来を支える子供達の勉学のためですから、最優先でお願いしたい。

また、震災から7ヶ月が経過しましたが、この震災で学業の遅れは無いのでしょうか。この間、新聞に掲載されておりましたが福島からの避難者が都内の学校に通っている生徒の話でした。“避難したばかりの頃は、成績がかなり悪かったようですが先生の特別の指導でトップになった。”と報じられておりました。

こういう時だからこそ、教師の意識改革を図り、しっかりした子供達を育てることが必要ではないかと思いますので宜しくお願い致します。

⑤合併について

市長も3期目に入ったわけですが、例えば、塩竈地区と言われる二市三町の合併についてどう考えておられるのかをお尋ね致します。

被害が大きかった多賀城市、そして七ヶ浜町は今、大変な状況ではないかと思いますが、この機に連携強化を図り、一機に合併推進のための会議を立ち上げるべきだと思います。こんな時だからこそ、塩竈地区と言われる二市三町が合併し、行政コストを下げ、新しい町づくりに取り組むべきではないかと思いますが如何でしょうか。

私は今が、チャンスだと思います。せめて七ヶ浜との1市1町の合併。または、松島を加えての1市2町の合併でもいいのではと思いますが、如何でしょうか。

合併に消極的であった為、せめて広域行政の充実を図る必要があるのではと提言を行った。

会派は「新生クラブ」に所属

保守系議員5名で、今回の選挙後に『新生クラブ』を結成しました。

新しい政治をめざして!!

塩竈市議会

新生クラブ



鎌田 礼二

伊藤栄一（顧問）

志子田 吉晃

佐藤 英治（会長）

菊地 進（幹事長）

新生クラブの目的

- 新生クラブ会派は、市民に開かれた議会をモットーとし、議会基本条例を見直し、実行性ある改革を実現する。
- 市民との対話を実行する。
- 市民全体の福祉の向上に努める。
- 議員としての品格と自己の能力を高め、市民に信頼される議員に努める。

開かれた議会とは

- 市民との対話、市民への説明
 - 通年議会の推進
 - 議長立候補制の実行
 - 議会改革推進会議
 - 各常任委員会の活発なる議論・調査
- 議会基本条例の見直しと改善



少林寺拳法 塩竈道院

検 索

◎稽古日 毎週 火・木曜日 午後6時半～9時まで（年少は8時まで）
土曜日 午後1時半～4時まで（年少は3時まで）

◎会 場 塩竈道院専有道場（梅の宮1-26 長沢郵便局向い）

◎連絡先 365-9626 Or 090-8921-3783



SHORINJIKEMPO